

# 平成29年度事業報告

## (概 要)

平成29年度年次経済財政報告では、日本の経済は、平成28年度後半から好循環が進展し、雇用情勢が一段と改善する中で人手不足感がバブル期並みに高まっており、少子高齢化・人口減少が進む中で人手不足を克服し持続的な経済成長につなげるためには、働き方改革と技術改革を同時に進めていく必要があるとされています。働き方改革においては、高齢者の就業機会を創る取り組みの中で、シルバー人材センターなどを通して高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供することが求められています。このように今後も高齢者の活躍する場はさらに拡大することが見込まれることから、シルバー人材センターには、高齢者の経験に裏付けられた知識や技能を活かせる臨時的、短期的な働く場を提供することで、生きがいつくりの確保や福祉の増進を図り、高齢者の能力を最大限に発揮できる生き生きとした活力ある地域社会づくりを目指し活動していくことが必要となってきます。

岡垣町シルバー人材センターにおきましても、以上のことを基本として日々活動していますが、高齢者雇用安定法の改正により65歳まで雇用延長されたことで、65歳以下の会員が少なくなりましたが会員の総数は309人となっており、今年度は前年度と比較して5名の増加となりました。しかし会員の数も数年単位で比較してみると減少傾向にあります。このことから、平成29年度は、①会員増に向けた取り組み ②適正就業 ③安全・安心な就業を目標に掲げ取り組んできました。その中でも特に安全な就業に関しては、平成29年9月に会員が車ごと線路に転落し、電車と衝突し死亡するという痛ましい事故が発生しました。これを受けて緊急の理事会、地域班・職群班正副班長合同会議及び安全就業推進委員会を開催するとともに、事務局だよりに掲載し役職員及び会員に事故の件について報告し、会員には、自ら事故に「遭わない・起こさない」ということを伝え安全について再認識をしてもらいました。

平成29年度の受託事業における収益は、派遣就業への切り替えが不調に終わったことで前年度と比較して減となっていますが、経常収益は役職員及び会員皆様のご協力により、25年度から5年連続で黒字決算となり誠にありがとうございました。今後も引き続き健全な経営を目指していきます。

以下事業実績及び主要事業について報告します。

(実施計画に基づく事業について)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業・社会参加のための支援

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業 (一般)

高齢者の福祉の増進を目的に地域に密着した臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務を請負契約もしくは委任契約で引き受け、職群班組織や毎月発行している事務局だよりを通して、公平な就業を提供してきました。

しかし、一部の就業については、会員を募集してもなかなか集まらず、仕事の依頼があっても就業する会員が現れないというミスマッチも発生しています。

① 平成29年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
人	人日	%	千円
284	33,225	91.9	152,396

② 主な就業分野

平成29年度は、本来派遣とすべきものを請負としていた業務を適正就業の観点から見直した事で請負自体が減少となりました。

職群別にみると一般作業群である草取り、草刈、清掃等が全体の54.0%となっており、続いて技能群である剪定、障子・襖の張替えなどとなっています。新規契約として、介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスAを岡垣町から委託し開始しました。12月から3月までの4か月間で3件の依頼がありました。

契約金額では、公共事業及び公社公団からの受注が約59.0%を占めています。



二 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

## 1. 普及啓発事業

### (1) 広報活動

昨年度と同様に29年度も、月1回岡垣町役場福祉課が開催する介護保険被保険者証交付会に合わせて、新規加入者にシルバー人材センター事業の紹介や入会について説明を行いました。また、岡垣町広報や郵便局の窓口封筒及び当センターの窓開き封筒を活用して、当センターの事業紹介や入会についての案内を行いました。その他にも、社用車8台の運転席及び助手席の側面を利用して「会員募集中」の案内表示を行うとともに、1月に開催した地域班別会議においても会員一人ひとりによる勧誘活動を行っていただくようお願いをしました。

次に、全国シルバー人材センター普及啓発促進月間に合わせて町内2か所のスーパーにおいて役職員及び会員でチラシの配布を行うとともに、町内3か所の公立公民館にチラシを備え置き広く住民に対して広報活動を行ってきたところです。

### (2) 社会参加活動

毎年5月と10月を「岡垣町シルバー人材センターの日」と定め、岡垣町役場庁舎周辺では2回の除草活動、海老津駅周辺では1回の清掃活動を実施しました。29年度は岡垣町役場の除草活動には合計で144名、駅周辺の清掃活動には32名の参加がありました。その他にも一般町民と合同による焼酎岡垣の原料となる黄金千貫の植栽・収穫作業や三里松原内の松葉かきにも参加しました。

また、年末には草刈班を中心に総勢38名のボランティアにより、門松を作成して岡垣町役場、岡垣サンリーアイ及びいこいの里に合計5対飾り付けを行いました。

### (3) 地域交流活動

毎年開催される「まつり岡垣」においては、当センターもパレードへの参加と出店をしています。29年度は、降雨のためパレードは中止となり、出店についてもパレードと同様に中止しました。また、こども未来館で開催される「子どもまつり」、岡垣町商工会が海老津駅前周辺で実施している「かぐや灯籠祭り」、岡垣町が実施している「人権講演会」、及び山田校区育成会が行っている事業に参加し、バルーンアートの実演を行い技術を習得した会員により子供たちとの触れ合いを行ってきました。

出張刃物研ぎサービスは、ボランティアの一環であるとの位置づけのもと開始したところですが、29年度は4か所で実施し、地域に密着したサー

ビスの提供と普及啓発に努めました。

## 2. 安全・適正就業推進事業

### (1) 安全就業対策

安全意識高揚のため安全標語を募集し29年度は、「軽く見た 慣れた作業に 落とし穴」が最優秀作品となり、「事務局だより」に掲載するとともに、倉庫前に標語看板を設置し会員に周知しました。

毎年1月4日に高倉神社にて実施している「安全・健康祈願祭」においては、84名の参加があり安全標語の入賞者へ表彰を行うとともに、本年の会員の安全と健康を祈願しました。

安全就業推進委員会では、会員の安全就業徹底のため「安全パトロール」を実施し、「安全はすべてに優先する。」という共通認識のもと作業状況の確認や安全指導を行うとともに、会員に安全に対して認識を常に持ってもらえるよう安全掲示板を作成し、事務局カウンターや倉庫前に掲示して無事故日数の更新の取り組みを引き続き実施しました。また、「事故ゼロ」を目指し6月から11月までの繁忙期において地域班単位で「無事故コンクール」を実施し、14班中9班が達成しました。なお、達成した班には記念品を贈りました。

近年、高齢者の交通事故が多発していることから、折尾署交通課の署員による交通安全講習会を開催し、38名の参加があり、交通事故防止に繋がるよう会員の安全意識高揚に努めました。

しかし、29年度は当センター始まって以来の会員が自動車ごと線路に転落し、電車と衝突して亡くなるという痛ましい重篤事故が発生しました。日頃から安全については、役職員のみならず会員を含め常に意識をもって取り組んではいますが、このような事故が発生したことは残念でなりません。安全就業推進委員会では、これを受けて事故が発生した場合には、「安全速報」を事務所前の掲示板及び倉庫前に掲示するとともに、事務局だよりにも掲載し周知を行い安全に対して再認識を促すこととしました。また、今後はこのようなことを二度と起こさないということを肝に銘じて、それぞれの作業に従事されるようお願いしました。

### (2) 適正就業

シルバー人材センターでは、臨時的、短期的かつ軽易な作業を中心として、会員がローテーションにより就業をしています。今後もこのことを基本として様々な就業に従事することとします。

また、派遣就業については、請負よりも手数料の関係で受注金額が増とな

ることから、就業依頼の話があっても発注者が躊躇し受注が得られない状況が発生していますが、適正就業の観点から理解を得られ受注できるよう引き続き努力していきます。

### 3. 相談業務

#### (1) 就業相談の実施

未就業会員の就業等についての相談や会員の悩みなどの個別相談を10月と2月の年2回実施しましたが、特に相談に訪れた会員はいませんでした。

#### (2) 入会説明会の開催

毎月第3水曜日にいこいの里において説明会を実施し、29年度は50名の参加者がありそのうち35名の方が新会員として入会されました。また退会者は30名であったことから、会員数は昨年と比較して5名の増加となりました。

### 4. 研修・講習事業

平成29年度は、新たに始まった介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスAを岡垣町からの委託を受け実施するために、会員向けに介護・家事援助の講習会を行い、10名の会員が受講し既に資格のある会員を含めいつでも実施できるよう体制を整えました。

草刈り作業に従事する会員のために、刈払機講習会を開催し14名の会員が、刈払機の安全で適切な使用方法を習得し、以後の作業に活かすことができました。

子育て支援サービスの一環として取り組んでいるバルーンアートについて、9回の講習会を実施し新たな会員を募りました。

高齢者の交通事故が近年目立っており当センターの会員においても車を運転する機会が多いため、会員の交通安全に対する意識高揚と、就業中や就業途上における交通事故防止を目的として折尾警察署交通課の協力のもと「交通安全講習会」を行い38名の参加がありました。

毎年実施している出張刃物研ぎについては、定着化しており利用者からも大変喜ばれていることから、今後も引き



続き実施していくことが求められますが、そのためには従事する会員の育成が必要なため、講習会を実施し会員を含め5名の参加がありました。

昨年度から活動を開始した「女性の会」は、7名から8名の女性会員により運営され10回開催し交流を深めることができました。また、2月には福岡県SC連合会が主催する子育て・福祉・家事援助サービス研修会において、活動内容の発表を行いました。

#### 5. 調査研究事業

27年度から29年度にかけて、いこいの里の入浴施設に設置されたバイオマスボイラーの燃料として、剪定クズをチップ化したものを利用できないかということについて実証実験を行い、一定の成果は得られましたが、実際に事業として取り組むには採算が取れないことから、見送ることとしました。